

ペーブク(平久保)サガリバナ会

交流
部門

夏の夜空に彩るペーブクサガリバナでふるさとづくり (平成24年度認定)



平久保は石垣島の最北端に位置しており、緑豊かな山々が広がり、海岸沿いの平地は牧草が約半数を占め、次いでさとうきびと農業を主産業とした農村風景が広がっている。山や農地沿いには数千のサガリバナが自生しており、ここ数年サガリバナ群落の名所として新聞に取り上げられ、多くの鑑賞者が来場するようになっている。

このサガリバナを守り、平久保の名所として存続させるため、ペーブク(平久保)サガリバナ会が維持管理活動を行っている。主な活動場所は、農道沿いのサガリバナ群落であり、雑木の伐採や古い葉の除去、農道の草刈り等を行っている。平成23年度からボランティア募集のPRをし、サガリバナと平久保に興味がある多くの人々と維持管理活動を行うことで、交流を深めている。

また、維持管理活動のみではなく、見学案内・自然体験教室の開催やサガリバナをテーマとした祭りの計画・立案等、本会のサガリバナに関する活動は地域内外の交流に寄与している。

このように、本会は、地域資源であるサガリバナを活かした交流活動を行う等、【夏の夜空に彩るペーブクサガリバナでふるさとづくり】に取り組んでいる。



維持管理活動(雑木伐採、日当たりが良くなったサガリバナ)



サガリバナ見学案内



自然体験教室



遊歩道ライト設置



ポストカード(大塚勝久氏)